

パウエル議長が FOMC を前に 0.5% の引き上げ検討を示唆 横山 泰史

業種: 日本株ストラテジー

過熱している労働市場

米FRBのパウエル議長が、5月のFOMCにてFFレート(政策金利)の0.5%引き上げ検討の考えがあることを示した。足元の米国では、高水準なインフレと過熱化しすぎている労働市場(求人)の鎮静化が課題となっている。米国の金融政策当局の間ではインフレ懸念から利上げにアグレッシブなタカ派が急速に台頭しており、政策金利の急速な利上げ見通しが強まっている。利上げは経済活動を冷やす効果があるため、米国経済が利上げによって景気が減速してリセッション(景気後退)入りするリスクを指摘する見方も強い。

見方は大きく分かれる

一方で、好調な労働市場によって、米国経済は金利上昇に耐えられて、リセッションは避けられるとの見方も非常に多い。このように読む投資家にとって、株価の調整局面は買い機会の到来といえよう。パウエル議長は米国の求人市場は非常に過熱していて、利上げによって市場を冷やす必要があると説明していた。このことは真実であろう。ただし、利上げによって米国経済がリセッション入りするのか、好調な労働市場にて吸収するのか、投資家の間では見方は大きく分かれている。いずれにしても、米国の金利引き上げの動きは円安ドル高要因となりそうである。

東京市場マーケットデータ

2022/4/21 現在

日経平均	2万7553円
プライム売買代金	2兆5187億円
プライム時価総額	694兆5164億円
日経平均予想PER	13.1倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.3%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

国内株式売買代金ランキング

2022/4/21 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	6.3%
2 東京エレクトロン	3.5%
3 日本郵船	1.2%
4 ソフトバンクグループ	▼0.8%
5 トヨタ	▼0.3%
6 ファーストリテイリング	2.7%
7 ソニーグループ	1.4%
8 川崎汽船	2.4%
9 三菱 UFJHD	0.0%
10 キーエンス	1.5%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



出所: Quick

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

